

ポイント

1さまざまな資料の読み取り

(1) スピーチ原稿

テーマ（話題や主張）や構成（導入・本論・まとめ）に注意して、伝えたいことを読み取る。

(2) ポスター

キャッチフレーズ、イラスト、写真などから伝えたいことを読み取る。

(3) 新聞

見出し・本文など構成を押さえて、事実か意見を区別して読み取る。

(4) 図表・グラフ

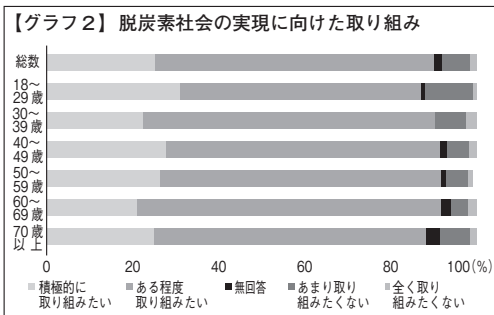
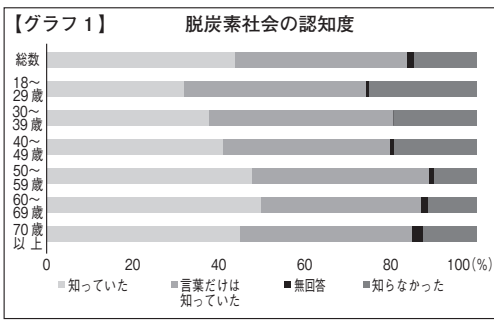
数値を確認したうえで、タイトルや調査対象、調査時期を押さえる。

(5) その他の実用文（報告書・説明書・契約書・案内など実用的な文章）

誰にどのようなことを伝える文であるか、正確に読み取る。

2 複数の資料の活用のポイント

例



内閣府 令和5年度 気候変動に関する世論調査 より作成
(グラフ1は資料を調査対象者に読んでもらってから質問)

(1) 文章（レポート・メモ）と表（グラフ）をあわせて考える

文章（レポート・メモ）では表（グラフ）のどの点に注目しているか、表をどのように見るかが書かれている。文章には、表だけではわからない情報が書かれていることもあるので、自分の考えをまとめる参考にすることもできる。

(2) 複数の表（グラフ）をあわせて考える

共通点や相違点の比較、最も大きい数値や小さい数値への注目などから見えてくるものを考える。

問：「グラフ1」「グラフ2」から読み取れる内容をまとめなさい。

答：例 脱炭素社会についての認知度には年代によって差があるが、脱炭素社会実現に向けて取り組みたい気持ちは年代に関係なく多くの人が持っている。

3 作文

●聞かれたこと（設問）を正しく読み、指示や条件に従う。

●制限字数・文末表現（「～から」「～こと」「～気持ち。」など）

●原稿用紙の使い方を守る。

●書き出し、改行は一字下げ。一マス一字・一符号が原則。

●文体の統一。常体（だ・である）調と敬体（です・ます）調。

●主語と述語、呼応の副詞を正しく対応させる。

●効果的な論旨の展開を心がける。

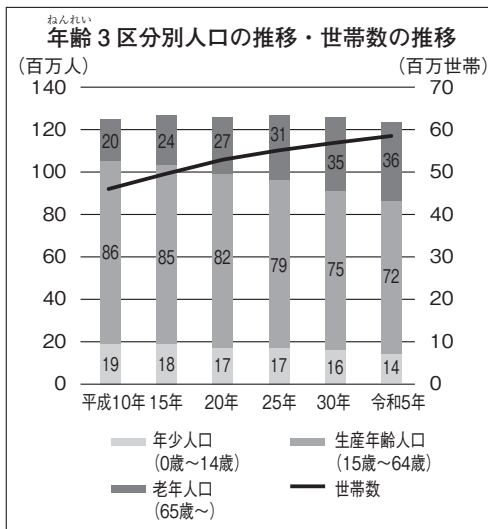
●頭括型（結論↓理由や根拠）・尾括型（詳しい本論↓結論）

●双括型（結論↓根拠となる事柄↓結論）

例題

1 田中^{たなか}さんは、日本人の暮らしについて調べて意見を發表しようとしています。次の【グラフ】と【發表原稿の一部】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【グラフ】



(令和6年 総務省 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数 より作成)

【発表原稿の一部】

人口について、生産年齢人口や年少人口は減少していますが、老年人口は増加しています。また、この二つのグラフから一世帯当たりの平均構成人員が A ことがわかります。つまり、 B ということが言えるのではないのでしょうか。

□(1) A にあてはまる最も適切な言葉を次から選び、記号で答えなさい。

ア 増加傾向にある イ 全く変化が見られない

ウ 減少傾向にある エ 増減が繰り返されている

□(2) (1)の内容は、【グラフ】のどのような点から読み取れますか。資料内の言葉を使って書きなさい。

□ (3) B にあてはまる最も適切な言葉を次から選び、記号で答えなさい。

ア 高齢者だけの世帯が増えている
イ 二人の子を持つ家庭が増えている
ウ 若者の就職率が下がっている
エ 三世帯同居の家庭が増えている

2

2 Aさんはある日、学校で「Ⅰ」のような体験をし、この体験をもとに「本当の親切とは」というテーマで「Ⅱ」のような作文を書きました。空欄を補う形で、「Ⅲ」の作文を完成させなさい。その際、あとの「条件」に従うこと。

〔Ⅰ・体験〕

Ⅰ・体験

友達のBさんが、朝、学校で慌てて宿題をしていた。私が登校したとたん、Bさんが、「宿題を写させて」と頼んできた。私は、親切のつもりで宿題を見せてあげたが、Cさんに、「それは、本当の親切じゃないよ」と言われた。

〔Ⅱ・作文〕

Ⅱ·作文

先日私は学校で、友達 の B さんに宿題を写させてほしいと頼まれました。私は、親切のつもりで宿題を見せてあげたのですが、それを見ていた C さんに、「それは、本当の親切じゃないよ」と言われました。

本当の親切とは、
 と考え直しました。

〔条件〕

には、「本当の親切」について考えたことを記入すること。

・全部で百二十字以上、百六十字以内になるようにまとめて、〔Ⅱ〕の作文の全文を左の原稿用紙に書きなさい。

[illegible]

次は、図書委員が読書週間に向けた話し合いをしている様子です。【資料1】・【資料2】と【話し合い】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【資料1】 以前に比べて読書量は減っていますか。(対象：16歳～19歳)

	平成 25 年				平成 30 年				令和 5 年			
増えている	全体	12.2%	男性	10.5%	全体	10.2%	男性	12.9%	全体	3.6%	男性	2.9%
			女性	13.6%			女性	7.1%			女性	4.2%
それほど変わっていない	全体	34.1%	男性	42.1%	全体	30.5%	男性	32.3%	全体	28.9%	男性	40.0%
			女性	27.3%			女性	28.6%			女性	20.8%
減っている	全体	53.7%	男性	47.4%	全体	57.6%	男性	51.6%	全体	66.3%	男性	57.1%
			女性	59.1%			女性	64.3%			女性	72.9%
わからない	全体	0.0%	男性	0.0%	全体	1.7%	男性	3.2%	全体	1.2%	男性	0.0%
			女性	0.0%			女性	0.0%			女性	2.1%

(令和5年度 国語に関する世論調査より作成)

【資料2】 中学生の SNS や動画視聴の時間

	年度	4時間以上	3～4時間	2～3時間	1～2時間	0～1時間	全くしない
普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)。	令和4年	15.4%	13.8%	22.5%	23.9%	19.0%	5.2%
	令和6年	17.9%	14.2%	23.3%	23.5%	16.8%	3.4%

(令和6年度 全国学力・学習状況調査より作成)

【話し合い】

山本 やまもと 今日は、今回の読書週間に向けた図書委員の活動を決める日だね。いくつか資料を用意してみたから、これを使って話し合っていこう。

白井 しらい 【資料1】は16歳～19歳に行ったアンケートの結果だけど、中学生でも参考になりそうだね。

山本 そうだね。まずは【資料1】を見てみよう。どの年度も「減っている」と答えた人は全体で半数以上いることがわかるね。

内田 うちだ しかも、「増えている」って答えた人はどんどん減っていて、令和5年では全体のA%しかないよ。この結果から、十代の多くの人が読書量が減っていると感じているというわけだね。

白井 それに、男女差が大きいのも気になるね。令和5年の男女別の回答結果を見ると、Bことがわかるよ。

山本 読書は習慣みたいなものだから、本が好きで普段から読む習慣ができている人は、それほど増えたり減ったりしないのかもしれないけど、一度読まなくなると戻すのが難しくなるかもしれないね。

内田 私は夜寝る前には本を読むようにしているから、あまり変わっていないと思うんだけど、読書をしなくなった人はどういう過ごし方をしているのだろう。

白井 それは、【資料2】から考えられそうだね。令和6年度の結果では、平日に3時間以上、スマートフォンなどでSNSや動画視聴をしている中学生は、全体の約30%もいるみたいだよ。それに、令和4年度と比べて全体的にも増加している傾向があるね。

山本 たしかに、それだと読書をする時間が減ったとしても仕方がないね。そういう時間を少しでも読書をする時間にしていくためには、どうしたらいいのだろう。

内田 たとえば、ドラマやアニメ、映画といった映像作品には、小説を原作にしたものが多くあるから、自分の好きな作品をきっかけにして読んでみるというのも方法の一つだと思うよ。

白井 たしかに、僕も好きなドラマの原作を読んだときに、作品の内容の理解が深まった感じがしてよかったよ。図書だよりで映像作品の原作になった

アンシヨウに乗り上げる。